

SONY®

FM/AM カセットカーステレオ

取扱説明書

お買い上げいただきありがとうございます。



電気製品は安全のための注意事項を守らない
と、火災や人身事故になることがあります。

この取扱説明書および「取り付けと接続」には、事故を防ぐための重要な注意事項と製品の取り扱いかたを示しています。この取扱説明書および「取り付けと接続」をよくお読みのうえ、製品を安全にお使いください。お読みになったあとは、いつでも見られるところに必ず保管してください。

XR-C3100

© 1997 by Sony Corporation



安全のために

ソニー製品は安全に十分配慮して設計されています。しかし、電気製品はすべて、まちがった使いかたをすると、火災や感電などにより人身事故になることがあります。事故を防ぐために次のことを必ずお守りください。



安全のための注意事項を守る

この取扱説明書および別冊の「取り付けと接続」の注意事項をよくお読みください。

道路交通法に従って安全運転する

運転者は道路交通法に従う義務があります。前方注意をおこるなど、安全運転に反する行為は違法であり、事故やけがの原因となることがあります。

- ・運転者は走行中に操作をしない。
- ・車外の音が聞こえる程度の音量で聞く。

定期的に点検する

1年に1度は、電源コードに傷みがないか、振動により配線がはずれていないか、接続部分が車体と接触していないか、などを点検してください。

故障したら使わない

動作がおかしくなったり、キャビネットや電源コードなどが破損しているのに気づいたら、すぐにお買い上げ店またはソニーサービス窓口に修理をご依頼ください。

万一、異常が起きたら

変な音・においがしたら、煙が出たら



- ① 安全な場所に車を止める
- ② 電源を切る
- ③ お買い上げ店またはソニーサービス窓口に修理を依頼する

警告表示の意味

取扱説明書および別冊の「取り付けと接続」では、次のような表示をしています。表示の内容をよく理解してから本文をお読みください。

⚠ 警告

この表示の注意事項を守らないと、火災・感電などにより死亡や大けがなど人身事故の原因となります。

⚠ 注意

この表示の注意事項を守らないと、感電やその他の事故によりけがをしたり自動車に損害を与えることがあります。

注意を促す記号



火災



感電



指挟み

行為を禁止する記号



禁止



分解禁止

目次

△警告	4
△注意	5

本機だけでできる操作

▶ 準備

まず、本機をリセットする	6
時計を合わせる	7
SHIFTボタンについて	8
放送局を自動で登録する	9
ロータリーコマンダーのラベルを貼る	10

▶ ここだけ読んでも使えます

テープを聞く	11
ラジオを聞く	16

▶ ラジオ

特定の放送局を登録する	18
放送局に名前をつける	19
放送局を名前や周波数で探す(リスト)	21

▶ その他の操作

ロータリーコマンダーの操作	22
音質や音のバランスを調節する	24
重低音を強調する(D-BASS)	25
音や表示の設定を変える	26

付録

使用上のご注意	35
各部のなまえ	37
故障かな?	39
保証書とアフターサービス	42
主な仕様	43
索引	44

準備

ここだけ
読みます

ラジオ

その他の操作

CD/MD

付録

警告



火災



感電

下記の注意を守らないと火災・
感電により死亡や大けがの
原因となります。

取り付けはお買い上げ店に依頼する

本機の取り付けには専門知識が必要です。

万一、ご自分で取り付けるときは、別冊の「取り付けと接続」の説明に従って、正しく取り付けてください。正しい取り付けをしないと、火災や感電の原因となります。



内部に水や異物を落とさない

水や異物が入ると火災や感電の原因となります。万一、水や異物が入ったときは、すぐに電源を切り、お買い上げ店またはソニーサービス窓口にご相談ください。



禁止

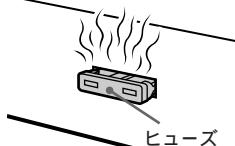


規定容量のヒューズを使う

ヒューズを交換するときは、必ずヒューズに記された規定容量のアンペア数のものをお使いください。規定容量を越えるヒューズを使うと、火災の原因となります。



禁止



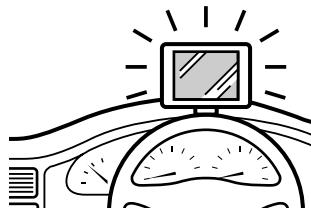
ヒューズ

前方の視界を妨げる場所に、ディスプレイやモニターを取り付けない

前方の視界の妨げになると、事故やけがの原因となります。また、取り付ける場所が、助手席用エアバッグシステムの動作の妨げにならないことを確認してください。



禁止



分解や改造をしない

火災や感電、事故の原因となることがあります。

内部の点検や修理はお買い上げ店またはソニーサービス窓口にご依頼ください。



分解禁止



下記の注意を守らないとけがをしたり自動車に
損害を与えることがあります。

カセットテープやディスク挿入口に手を入れない

内部で手をはまれ、けがの原因となることがあります。



禁止

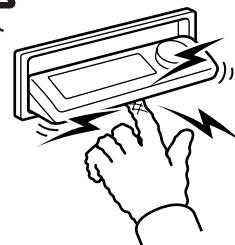


フロントパネルを閉めるとき手を入れない

フロントパネルに手をはまれ、けがの原因となることがあります。



指挟み



はじめに

本機では、カセットテープとラジオを聞くことができます。付属のロータリーコマンダーを使って手元で簡単に操作することができます。

別売りの機器をつないだ場合も本機のボタンで操作できます。以下の機器が組み合わせられます。

CD/MD機器

— カスタムファイル機能付きCDチェンジャー、スペアナ付きCD/MDプレーヤー、イコライザー付きCD/MDプレーヤー、MDチェンジャーがあります。

この取扱説明書では、本機の使いかたの他に、別売りのCD/MDチェンジャーを接続した場合の操作方法についても説明しています(27ページ~)。

TEL/NAVIミュート機能

本機は、電話使用時やナビゲーションの案内音声があるときに本機からのスピーカーの音量を自動的に下げます。ただし、ミュート出力コードの付いた携帯電話や自動車電話、カーナビゲーションシステムを接続した場合です。VOLダイヤルで音量を上げると解除されます。

まず、本機をリセットする

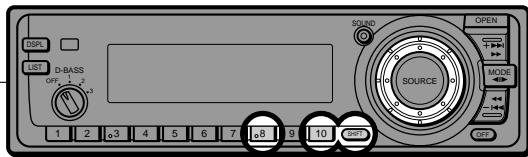


初めて使うときや、自動車のバッテリーを交換したときは、リセットボタンをボールペンの先などで押す。

ご注意

リセットボタンを押すと、時刻の他、登録した内容で消えるものがありますので、登録し直してください。

時計を合わせる



1 車のイグニッションキーをONにする。



2 SHIFTボタンを押して「SET UP」を表示する。



3 数字ボタン8 (SET UP) を押して「CLOCK」を表示する。



① 数字ボタン10 (→) を押す。



② ダイヤルで「時」を合わせる。



(時計は12時間表示)



③ 数字ボタン10 (→) を押す。



④ ダイヤルで「分」を合わせる。



4 最後にSHIFTボタンを押す。

時計がスタートする。

ご注意

本機底面のパワーセレクトスイッチを❶にしている場合は、本機の電源を入れてから時計を合わせてください。

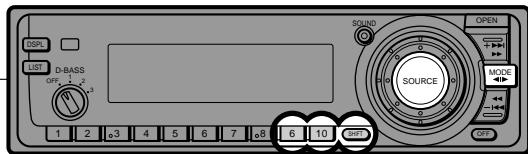
電源を入れるには、SOURCEボタンを押してラジオを動作させます。

SHIFTボタンについて

本機を操作するとき、SHIFTボタンを押すと、1~10のボタンは、上に機能表示が出て各機能の操作ボタンに変わります。

各設定等を行った後はSHIFTボタンを押してもとに戻します。

放送局を自動で登録する



受信できる局を数字の1~10ボタンに自動的に登録します。FMまたはAMのバンドでそれぞれ10局ずつ登録できます。テレビ放送(1~3チャンネル)は、FM90.0MHzの次にあります。



1 SOURCEボタンを押して、ラジオに切り換える。



2 MODEボタンを押して、登録したい放送局のバンドに切り換える。



3 SHIFTボタンを押して「P. MODE」を表示する。



4 数字ボタン9(P. MODE)を押してBTMを表示する。



5 数字ボタン10 (→) を押す。

「BTM」(ベストチューニングメモリー)表示が点滅し、選んだバンドの中で受信状態の良い局が周波数の順に数字ボタンに登録されます。



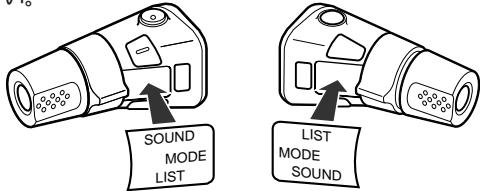
6 最後に、SHIFTボタンを押す。

ご注意

- 放送局の数が少ない場合や電波が弱いときは、登録されないことがあります。
- 表示窓に登録番号が表示されているときは、それ以降の数字ボタンに放送局が登録されます。

ロータリーコマンダーのラベルを貼る

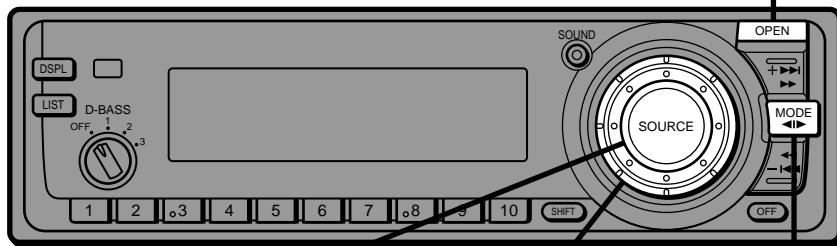
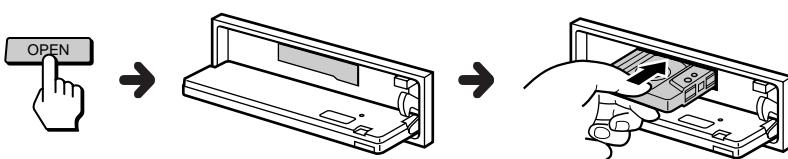
本機にはロータリーコマンダーが付属されています。ロータリーコマンダーの取り付けについては別冊の説明書を、操作については「ロータリーコマンダーの操作(22ページ)」をご覧ください。



ロータリーコマンダーを取り付けた位置に合わせてラベルを貼る。

テープを聞く

テープを入れると再生が始まります



テープが入ってい
るときに押して
「PLAY」を表示す
ると再生が始まる
(ソースSOURCEボタン)



音量を調節する

テープの面を切り換
える(MODEボタン)



再生中に押すと、テープ
の面が切り換わります。

FW



PLAY

上面を再生

REV



PLAY

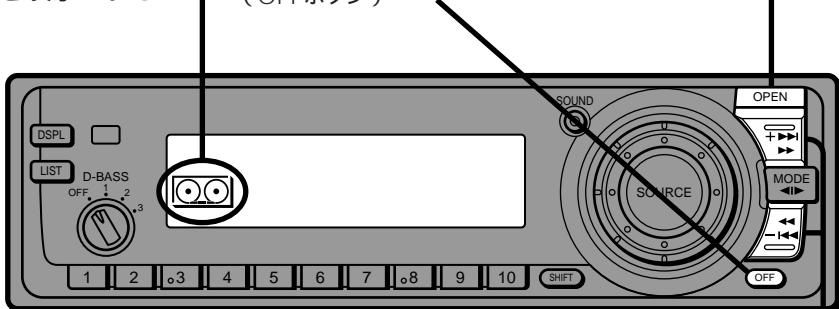
下面を再生

次のページへつづく

テープを聞く(つづき)

テープが入っている
とき表示される

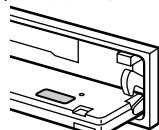
止める/電源を切る
(OFFボタン)



テープを取り出す

オープン
(OPENボタン)

OPENボタンを押してふたを
開け、▲EJECT
ボタンを押す。



巻戻し・早送りをする

シーク/エーエムエス
(SEEK/AMSボタン)



早送り

巻戻し

押しつづけると、巻戻し・早
送りします。

途中で再生を始めるには、
モード◀▶ボタンを押します。

曲の頭出しをする

シーク/エーエムエス
(SEEK/AMSボタン)



次の曲へ

前の曲へ

とばしたい曲の数だけ押しま
す(最大9曲まで)。

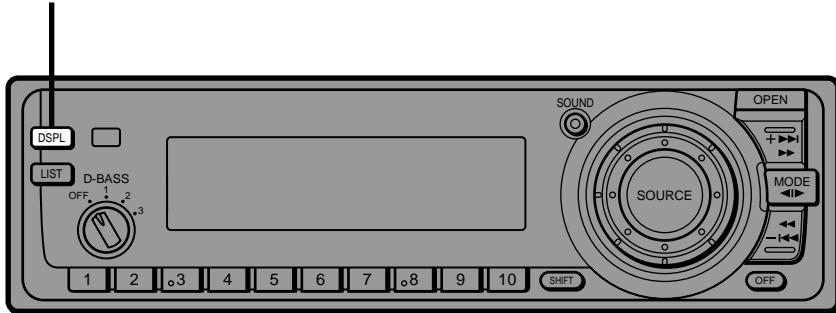
表示の見かた (DSPLボタン)

DSPLボタンを押して表示を切り替えます。



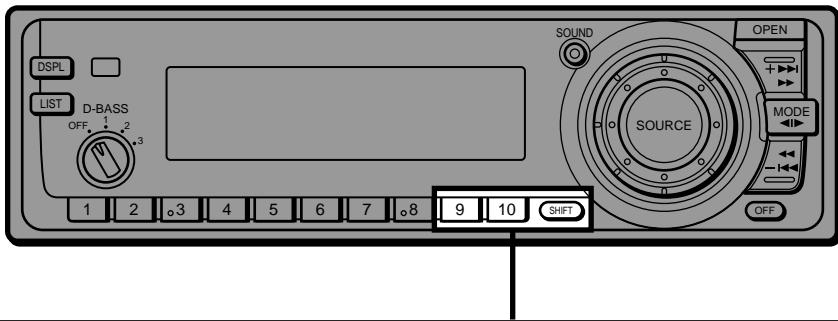
ご注意

音や表示の設定を変える(26ページ)で「D. INFO」をONにしたとき、ATA動作時以外は表示は変わりません。



次のページへつづく

テープを聞く(つづき)



いろいろな聞きかた

- ・「INTRO」 → 各曲の頭を10秒ずつ再生する。
- ・「NR」 → ドルビー* B NRで録音したテープを再生する。
- ・「METAL」 → メタルテープを再生する。
- ・「ATA」 → 早巻き中はラジオに切り換わる。
- ・「BL.SKP」 → 8秒以上の空白を早送りする。

SHIFT

1 SHIFTボタンを押して「P. MODE」を表示する。

9

2 数字ボタン9 (P. MODE) を押して表示を切り換える。

INTRO → NR → METAL → ATA → BL.SKP

10

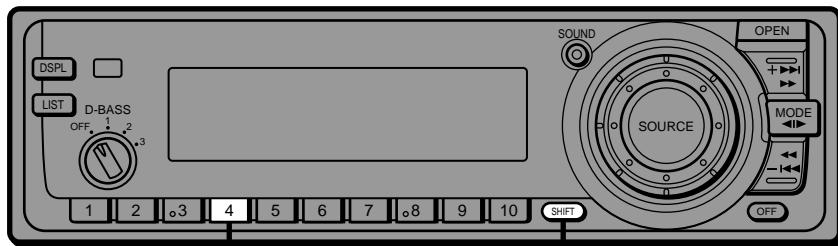
3 数字ボタン10 (→) を押して「ON」を表示する。

SHIFT

4 最後に、SHIFTボタンを押す。

ふつうの再生に戻すには、手順3で「OFF」を表示させます。

* ドルビーノイズリダクションはドルビーラボラトリーズライセンシングコーポレーションからの実施権に基づき製造されています。ドルビー、DOLBY、及びダブルD記号はドルビーラボラトリーズライセンシングコーポレーションの商標です。



同じ曲を繰り返し聞く(リピート演奏)

- 1 SHIFTボタンを押して、「REP」を表示する。
- 2 数字ボタン4 (REP) を押して「REP ON」表示にする。
- 3 最後に、SHIFTボタンを押す。

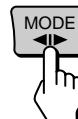
ふつうの再生に戻すには、手順2で「REP OFF」を表示させます。

ラジオを聞く

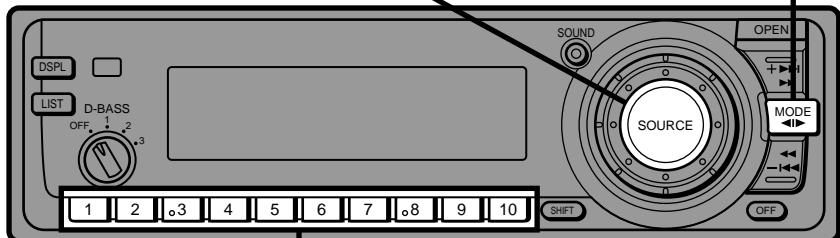
1 ラジオに切り換える



2 聞きたいバンドに切り換える



押して「FM」または
「AM」を選びます。



3 聞きたい放送局のボタンを押す (放送局を登録してあるとき)



登録のしかたについては、9ページ参照。

ご注意

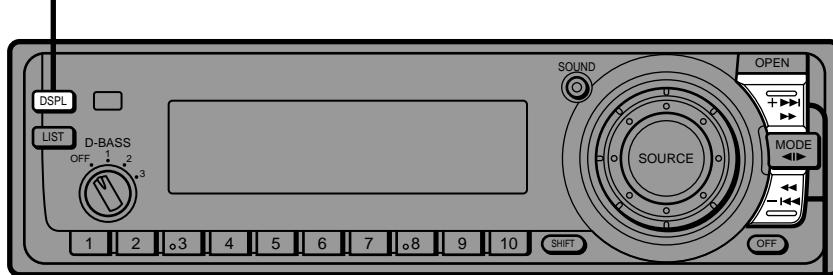
数字ボタン上に「SET UP」、「P. MODE」などの表示が出ているときは、SHIFTボタンを押して表示を消してから操作してください。

表示の見かた (DSPLボタン)

DSPLボタンを押して表示を切り替えます。



*名前を登録していないときは、「NO NAME」と表示され、周波数表示に換わります。



ステレオ放送が聞きにくいとき

ステレオ放送を受信すると「STEREO」と表示されます。放送が聞きにくいときは、SHIFTボタンを押して「P. MODE」を表示させ、数字ボタン9(P. MODE)を押し「MONO OFF」表示にします。次に数字ボタン10(→)を押し「MONO ON」表示にします。「MONO」の表示が出て、音はモノラルになりますが、聞きやすくなります。

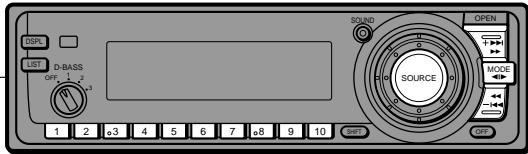
旅先などで、登録した放送局が受信できないとき(自動選局を使う)

SEEK/AMSボタンを短く押して離します。自動的に放送局を探し始め、受信すると止まります。聞きたい放送局が受信されるまで、ボタンを繰り返し押します。



- 聞きたい放送局がわかっているときは、その局の周波数になるまでSEEK/AMS(▶▶/◀◀)ボタンを押しつづけます。
- 自動選局がたびたび止まってしまうときは、SHIFTボタンを押して「P. MODE」を表示させ、数字ボタン9(P. MODE)を繰り返し押して「LOCAL OFF」を選びます。それから数字ボタン10(→)で「LOCAL ON」を選びます。「LOCAL」の表示が出て、比較的電波の強い局だけを受信します。

特定の放送局を登録する



放送局を自動で登録(9ページ)したあと、空いている数字ボタンに他の放送局を追加登録できます。道路交通情報(AM1,620kHzまたはAM1,629kHz)を登録しておくと便利です。



1 SOURCEボタンを押してラジオに切り換える。



2 MODEボタンを押して登録したい放送局のバンド(FMまたはAM)に切り換える。



3 SEEK/AMSボタンを押して登録する放送局を受信する。

FM

1620



4 登録したい数字ボタンを「ポツ」と音がするまで押す。



「MEM」が表示されます。

押した数字ボタンの番号が表示され、このボタンに選んだ放送局が登録されます。

MEM

10

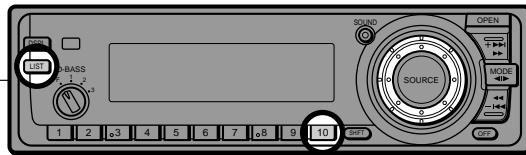
1620

ご注意

すでに登録してある数字ボタンに同じバンドの他の放送局を登録すると、前の局は消えてしまいます。

放送局に名前をつける

ラジオ

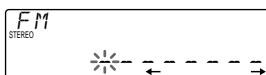


放送局に名前をつけると、受信中にその名前を表示できます。放送局には、8文字までの名前を付けられます。

1 名前をつけたい放送局を受信する。

LIST

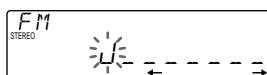
2 LISTボタンを表示が点滅するまで押す。



3 文字を入力する。

① ダイヤルを右に回して、文字を探す。

A→B→C→...Z→0→1→2→...9→+→-→*→/→\→→
→.→_



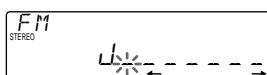
ダイヤルを左に回すと、逆順に表示されます。

文字の間をあけたいときは、「_」(下線)を入力します。

10

② 文字が見つかったら、数字ボタン10(→)を押す。

次の文字を入力できるようになります。



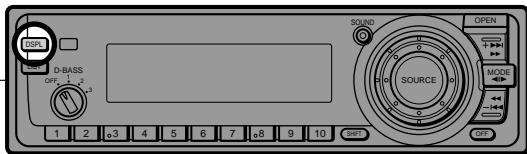
まちがえたときは、数字ボタン7(←)を押して修正したい文字を点滅させて正しい文字を入れます。

③ 手順①と②を繰り返し、名前を入力する。

LIST

4 最後に、LISTボタンを2秒以上押す。

放送局に名前をつける(つづき)



名前を表示するには

DSPL

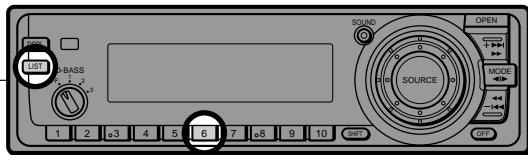
DSPLボタンを押して名前表示に切り換える。

名前を登録していない場合は、「NO NAME」と表示されます。

名前を消去するには

- 1 LISTボタンを表示が点滅するまで押す。
- 2 DSPLボタンを2秒以上押す。
- 3 ダイヤルを回して消したい名前を表示させる。
- 4 数字ボタン6 (ENTER) を名前が消えるまで押す。
- 5 LISTボタンを2秒以上押す。

放送局を名前や周波数で探す



ラジオ

登録した放送局が、周波数を見ながら探せます。放送局に名前をつけておくと(19ページ) 名前が表示されます。

- 1 LISTボタンを短く押す。

LIST
I U - WAVE

受信中の放送局が点滅

名前をつけていない場合は、周波数を表示します。

- 2 つづけてLISTボタンを押して聞きたい放送局に合わせる。

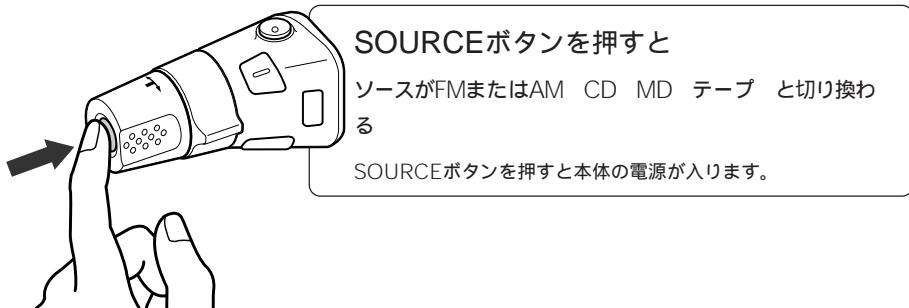
DSPLボタンを押したり、ボタンを押さないまま5秒間を過ぎると、もとの表示に戻ります。

- 3 数字ボタン6 (ENTER) を押して受信する。

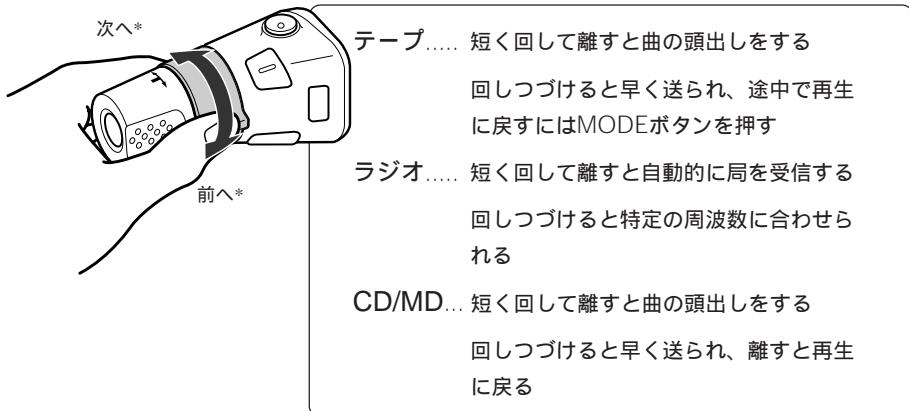
ロータリーコマンダーの操作

CD/MDチェンジャーは、機器をつないでいるときだけ操作できます。

押すと (SOURCEボタン)



回すと (SEEK/AMSつまみ)

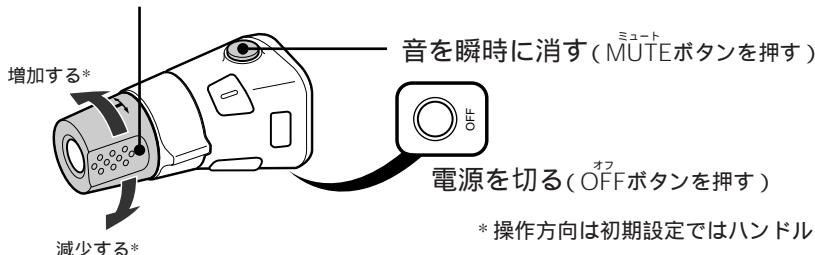


押しながら回すと (PRESET/DISCつまみ)



その他の操作

音量を調節する (VOLつまみを回す)

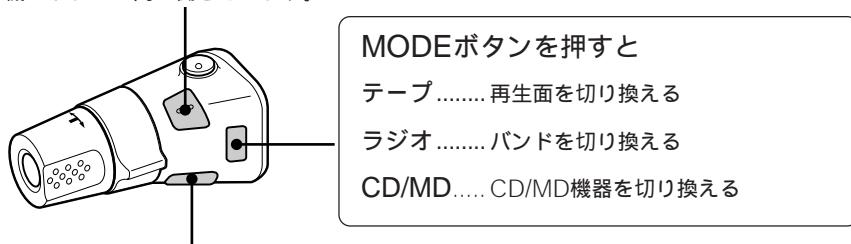


* 操作方向は初期設定ではハンドルコラムの左側に設置したときの使用を想定した方向になっています。

音量調節・音質選択する

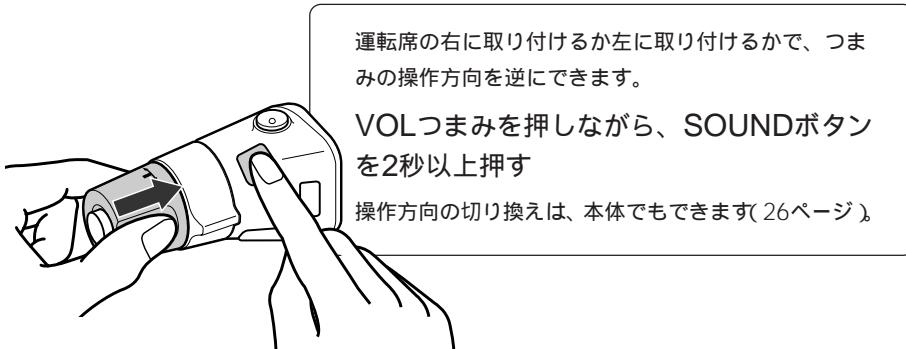
(SOUNDボタンを押す)

本機のボタンと同じ働きをします。

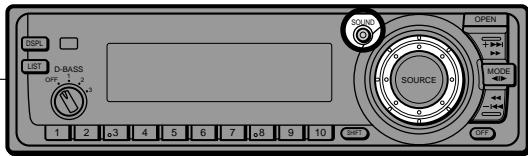


本機のボタンと同じ働きをします。

つまみの操作方向を切り換える



音質や音のバランスを調節する



BAS(低音) TRE(高音)はソースごとに調節でき、またメモリーされます。



1 SOUNDボタンを押して調節したい項目に切り換える。

VOL(音量)→BAS(低音)→TRE(高音)→
BAL(左右のスピーカーバランス)→FAD(前後のスピーカーバランス)



2 ダイヤルを回して調節する。

3秒以内にダイヤルを回してください。3秒を過ぎると音量調節(VOL)に戻ります。

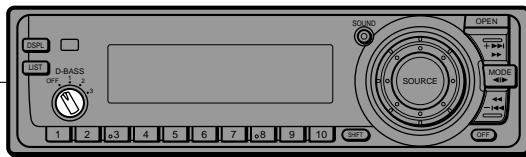


BAS	TRE	BAL	FAD
弱まる	弱まる	右が下がる	前が下がる
強まる	強まる	左が下がる	後ろが下がる

ご注意

別売りのグラフィックイコライザーを接続している場合に、本体では「FAD」の表示をしません。

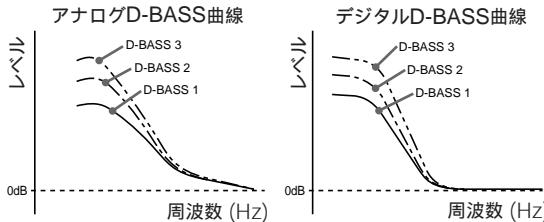
重低音を強調する



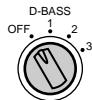
D-BASS

D-BASS機能(ダイナミックベース)は低音域をシャープに増幅するため、従来の低音強調機能よりも同じ音量でクリアな力強い低音を楽しめます。通常のテープ再生時やラジオ受信時はアナログD-BASSで再生され、デジタルD-BASS対応のCDチェンジャーのCD再生時はデジタルD-BASSで再生されます。

その他の操作



D-BASSつまみで低音を調節する



1～3に合わせます。数字が大きいほど低音が強調されます。

ディスプレイでの表示

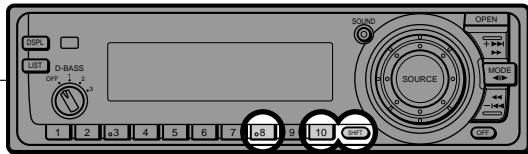
「D-BASS」 → テープ再生時またはラジオ受信時

「DIGITAL D-BASS」 → デジタルD-BASS対応チェンジャーCD再生時
通常に戻すときは、D-BASSつまみを「OFF」に合わせてください。

ご注意

D-BASSを使うと、音量によっては低音が歪むことがあります。このときはD-BASSつまみや音量を聞きやすいように調整してください。

音や表示の設定を変える



次の設定ができます。

- ・「D. INFO」→ 常に時計を表示させる。
- ・「DIM」 → 表示窓を減光する。
 - 「AUTO」→ 車のライトスイッチに連動して減光する。
 - 「ON」→ 車のライトスイッチに関係なく減光する。
 - 「OFF」→ 車のライトスイッチに関係なく減光しない。
- ・「BEEP」 → 操作ボタンを押したときの「ピッ」という音を入・切する。
- ・「RM」 → ロータリーコマンダーのつまみの操作方向を切り換える。
 - 「NORM」→ 初期設定の回転方向。
 - 「REV」→ 運転席の右側に取り付けたときの回転方向。

SHIFT

1 SHIFTボタンを押して「SET UP」を表示する。

SHIFTボタンを押すと、操作できる数字ボタンの上に表示が表示が出来ます(「SET UP」、「P. MODE」など)。

8

2 数字ボタン8 (SET UP) を繰り返し押して調節したいモード表示にする。

CLOCK → D. INFO → DIM → BEEP → RM

10

3 数字ボタン10(→)を押して調節したい設定表示にする。

(例:「ON」または「OFF」)

SHIFT

4 最後に、SHIFTボタンを押す。

CD/MD

別売りのCD/MD機器をつないで、CDやMD(ミニディスク)を再生できます。この章では、CD/MD機器固有の機能について説明します。

CD/MDを聞く



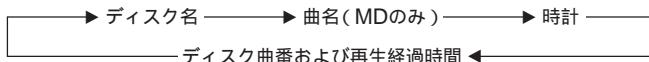
CD/MD機器を2台以上つないでいる場合、再生中にMODEボタンを繰り返し押して、聞きたい機器に切り換える。

CD1→CD2

全てのディスクを順に再生します。

表示窓の見かた

再生中にDSPLボタンを押して表示を切り替えます。



ご注意

- ・「NO NAME」: CDに名前をつけていない。
- ・「NO D.NAME」: MDにディスク名が記録されていない。
- ・「NO T.NAME」: MDに曲名が記録されていない。
- ・MDのカタカナ表示は対応していません。

MDに録音日時が記録されている場合は、再生中にDSPLボタンを2秒以上押すと、録音日時が約3秒間表示されます。

長いディスク名、曲名を再び見るにはSHIFTボタンを押して「←」を表示し、数字ボタン7(←)を押します。

自動的に長いディスク名または曲名をスクロールするには

MDを再生したとき、またはディスク、曲を切り換えたとき、9文字以上のディスク名¹または曲名²を自動的にスクロールします。

- 1 SHIFTボタンを押して「SET UP」を表示する。
- 2 数字ボタン8(SET UP)を押して「A.SCRL」を表示する。
- 3 数字ボタン10(→)を押して「A.SCRL ON」にする。
- 4 最後に、SHIFTボタンを押す。

ふつうの表示に戻すには、手順2で「A.SCRL OFF」を選びます。

¹ 表示がディスク名表示のとき

² 表示が曲名表示のとき

聞きたい曲・ディスクを探す

探し方	押すボタン
曲の頭出しをする	再生中にSEEK/AMSボタン
	 <p>先の曲へ 前の曲へ</p> <p>押した回数だけ前または先の曲の頭出しをします。</p>
曲の聞きたいところを探す	再生中にSEEK/AMSボタン
	 <p>ボタンを押しつづけ、聞きたいところで離します。</p>
ディスク番号を選ぶ	再生中に数字ボタン1～10
	 <p>1 2 3 4 5 6 7 8 9 10</p> <p>聞きたいディスクの番号を押します。</p>
ご注意	
数字ボタン上に「SET UP」、「P. MODE」などの表示が出ているときは、SHIFTボタンを押して表示を消してから操作してください。	

イントロ

各曲の頭を10秒ずつ聞く

- SHIFT** 1 SHIFTボタンを押して「P. MODE」を表示する。
- 9 2 数字ボタン9 (P. MODE) を押して「INTRO OFF」を表示する。
- 10 3 数字ボタン10 (→) を押して「INTRO ON」を表示する。
ふつうの再生に戻すには、手順3で「INTRO OFF」を選びます。
- SHIFT** 4 最後に、SHIFTボタンを押す。

リピート

繰り返し聞く

- ・「REP 1」→再生中の曲を繰り返す。
- ・「REP 2」→再生中のディスクを繰り返す。
- ・「REP 3」→CD/MD機器を2台以上つないでいる場合は、再生中の機器の全ディスクを繰り返す。

SHIFT

1 再生中にSHIFTボタンを押して「REP」を表示する。

4

2 数字ボタン4 (REP) を押して聞きたい設定に切り換える。

→ REP 1 → REP 2 → REP 3 → REP OFF →

リピート演奏が始まります。

ふつうの再生に戻すには、手順2で「REP OFF」を選びます。

SHIFT

3 最後に、SHIFTボタンを押す。

CD/MD

シャッフル

曲順を変えて聞く

- ・「SHUF 1」→再生中のディスクの曲を順不同に1回ずつ再生する。
- ・「SHUF 2」→再生中の機器の全ディスクの曲を順不同に1回ずつ再生する。
- ・「SHUF 3」→CD/MD機器を2台以上つないでいる場合は、全機器の全ディスクの曲を順不同に1回ずつ再生する。

SHIFT

1 再生中にSHIFTボタンを押して「SHUF」を表示する。

5

2 数字ボタン5 (SHUF) を押して聞きたい設定に切り換える。

→ SHUF 1 → SHUF 2 → SHUF 3 → SHUF OFF →

シャッフル演奏が始まります。

ふつうの再生に戻すには、手順2で「SHUF OFF」を選びます。

SHIFT

3 最後に、SHIFTボタンを押す。

CDに名前をつける

カスタムファイル対応のCD機器の場合

CDに8文字までの名前をつけ、再生中に表示できます。つけた名前はCD機器本体に記憶され、CD110枚分を保存できます。

LIST

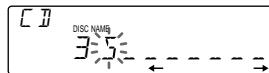
1 CDを再生し、LISTボタンを表示が点滅するまで押す。



2 文字を入力する。

① ダイヤルを右に回して、文字を探す。

A→B→C→...Z→0→1→2→...9→+→-→*→/→\→→
→.→—



ダイヤルを左に回すと、逆順に表示されます。

文字をあけたいときは、「_」(下線)を入力します。

10

② 文字が見つかったら、数字ボタン10 (→) を押す。



まちがえたときは、数字ボタン7 (←) を押して修正したい文字を点滅させ、正しい文字を入れ直します。

③ 手順①と②を繰り返し、名前を入力する。

LIST

3 最後に、LISTボタンを2秒以上押す。

CDに名前をつける(つづき)

名前を表示するには

DSPL

再生中にDSPLボタンを押して、名前表示に切り換える。

名前を消去するには

1 CDを再生し、LISTボタンを表示が点滅するまで押す。

2 DSPLボタンを2秒以上押す。

3 ダイヤルを回して消したい名前を表示させる。

4 数字ボタン6 (ENTER) を2秒以上押す。

他に消したい名前があるときは、手順3、4を繰り返す。

5 最後に、LISTボタンを2秒以上押す。

リスト

ディスクを名前で探す

MDチェンジャーまたはカスタムファイル対応のCD機器の場合

名前を見ながら好きなディスクを選べます。CDについては、ディスクメニュー機能(30ページ)で名前をつけてからこの機能を使います。

LIST

1 LISTボタンを短く押す。

LIST
4 BACH

再生中のディスク名が点滅

LIST

2 LISTボタンを繰り返し押して聞きたいディスクの名前に切り換える。

ボタンを押さないまま5秒を過ぎると、ふつうの表示に戻ります。

6

3 数字ボタン6 (ENTER) を押して再生する。

ご注意

- ・「NO DISC」: ディスクが入っていない。
- ・「*****」: 名前が入っていない。
- ・「NOT READ」: 本機がディスク情報を読み込んでいない。

パンク

CDの聞きたい曲だけを聞く

カスタムファイル対応のCD機器の場合

聞きたくない曲をとばして、お気に入りの曲だけを再生します。この機能を使えるのは、ディスクメモ機能(30ページ)で名前をつけたCDだけです。

聞きたくない曲をとばすように指定する

SHIFT

1 CDを再生し、SHIFTボタンを押して「P.

MODE」を表示する。次に数字ボタン9

(P.MODE) を2秒以上押して「PLAY」表示にする。

9



2 SEEK/AMSボタンを押し、とばしたい曲の番号を表示して、数字ボタン6(ENTER)を押す。

表示が「PLAY」(再生する)から「SKIP」(とばす)に変わります。

6



5番目のディスクの3曲目をとばすとき

「PLAY」に戻すときは、もう一度数字ボタン6(ENTER)を押します。

3 同様にして、とばす曲全部に「SKIP」を設定する。

9

4 数字ボタン9(P.MODE)を2秒以上押す。

SHIFT

5 最後に、SHIFTボタンを押す。

ご注意

- 「SKIP」を設定できるのは24曲目までです。

- 「SKIP」を全曲に設定して、ディスクを丸ごととばすことはできません。

CD/MD

次のページへつづく

CDの聞きたい曲だけを聞く(つづき)

曲をとばしながら聞く

SHIFT

1 CDを再生し、SHIFTボタンを押して「P. MODE」を表示する。次に数字ボタン9 (P. MODE) を押して「BANK OFF」表示にする。

9

10 2 数字ボタン10 (→) を押して再生のしかたを選ぶ。

再生のしかたが切り換わります。

BANK ON

曲をとばしながら
再生

BANK INV

「SKIP」(とばす)を
設定した曲だけ再生

BANK OFF

ふつうの再生

SHIFT

3 最後に、SHIFTボタンを押す。

イコライザー付きCD/MDプレーヤーを聞く

本機にはSOUNDボタンがありますが、イコライザー操作はできません。

イコライザー付きCD/MDプレーヤーの取扱説明書「SOUNDボタンのないマスターユニットと接続した場合」を参照してください。また、本機にはソースサウンドメモリーとディスクサウンドメモリーの機能はありません。

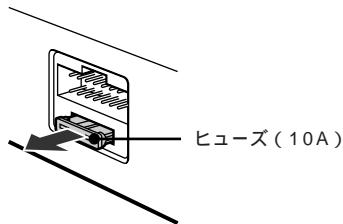
使用上のご注意

本体の表面を傷めないために

本体表面に殺虫剤やヘアスプレーがかかったり、防虫剤などの薬品やゴム、ビニール製品が長時間接触しないようにしてください。本体表面が変質、変形したり、塗装がはげたりすることがあります。

ヒューズについて

ヒューズを交換するときは、必ずヒューズに記してある規定容量(アンペア数)のヒューズをお使いください。規定容量以上のヒューズや針金で代用すると故障の原因となるだけでなく大変危険です。



カセットデッキのヘッドのお手入れについて

カセットテープを長い間使用すると、ヘッドが汚れて、音質が良くない、音が出ないというようなことがおこります。1か月に1度ぐらいの割合で、別売りのソニークリーニングカセットCHK-1またはC-1KNを使ってヘッドをクリーニングしてください。また、クリーニングカセットを使用しても症状が良くならない場合は、お買い上げ店、またはお近くのソニーサービス窓口にご相談ください。

良い音で聞くために

カップホルダーにジュースなどを置くときは、飛び散りにご注意ください。本機やカセットテープ面に糖分が付着すると、カセットデッキのヘッドが汚れ、音質が劣化したり、音が出なくなることがあります。ヘッドに付着した糖分は、クリーニングカセットでクリーニングすることができません。



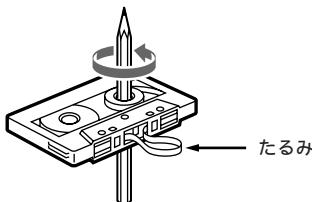
付
録

[次のページへつづく](#)

使用上のご注意(つづき)

カセットについて

- ・テープ面に指を触れないでください。テープ面が汚れたカセットを使うと、音質の劣化の原因となります。
- ・古いカセットや粗悪なカセットを使わないでください。音質の劣化や故障の原因となることがあります。
- ・次の場所には絶対に置かないでください。
 - 直射日光が当たるところなど高温の場所(特に夏季)
 - 湿度の高いところ
- ・テープにたるみがあると、テープが機械に巻き込まれることがあります。鉛筆などでたるみをなくしてから使用してください。



- ・90分を超えるテープのご使用はおすすめできません。90分を超えるテープは、非常に薄くのびやすいので、車の振動や高温によってテープが機械に巻き込まれる場合があります。



- ・変形したカセットテープやラベルのはがれかかったカセットテープを使用すると故障の原因になります。ラベルがはがれかかっているときは、新しいラベルに貼り直してください。

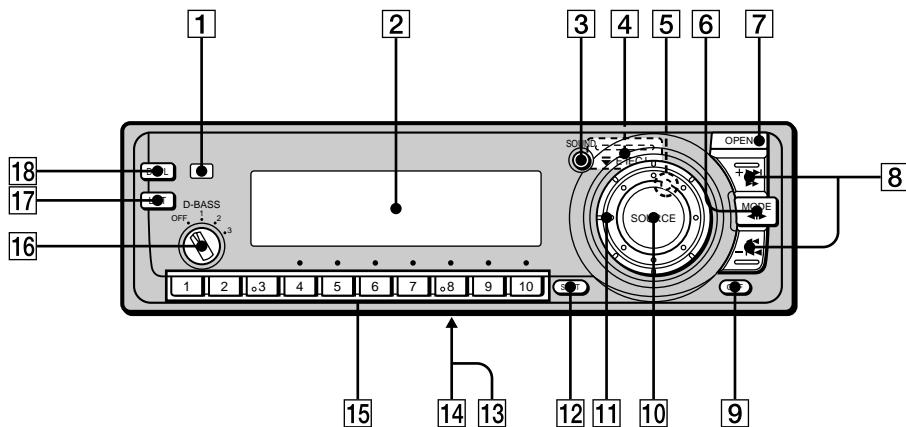


- ・本機はパワーアンプ内蔵のため、長時間使用するとカセットが熱くなりますが、カセットの機能には影響ありません。

各部のなまえ

本体

内のページにくわしい説明があります。



1 リモコン受光部

2 表示窓

3 SOUND (音質調整) ボタン 24

4 ▲ (テープ取り出し) ボタン 12

5 リセットボタン 6

6 MODE (テープ再生面・バンド・CD/MD機器切り換え) ボタン
モード テープ 11
ラジオ 9 16
CD/MD 27

7 OPENボタン 11 12

8 SEEK/AMS (頭出し/ラジオ選局) ボタン 12 17 18 28 33

9 OFF (電源切り) ボタン 12

10 SOURCE (FMまたはAM/テープ/CDまたはMD切り換え) ボタン 9 11 16 18

11 VOL/BAS/TRE/BAL/FAD (音量調節) ダイヤル 7 19 24 30

12 シフト SHIFTボタン

P. MODE 9 14 28 33

REP 15 29

SET UP 7 26

13 音声出力/入力切り換えスイッチ (底面)

くわしくは「取り付けと接続」をご覧ください。

14 パワーセレクトスイッチ (底面)

くわしくは「取り付けと接続」をご覧ください。

15 数字ボタン1~10

テープ 14 15

ラジオ 9 16 18 19 21

CD/MD 28 29 30 32 33 34

16 D-BASS (重低音調節) つまみ 25

17 LISTボタン

ラジオ 19 21

CD/MD 30 32

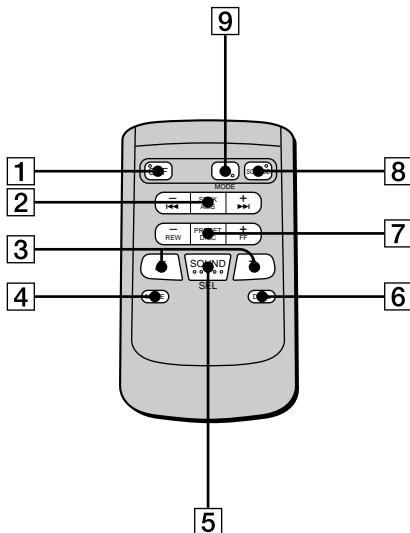
18 DSPL (表示切り換え) ボタン 13 17 20 31

付
録

次のページへつづく

使用上のご注意(つづき)

ワイヤレスリモートコマンダー RM-X41(別売り)



- ① OFF(電源切り)ボタン
シーケンス/エムエス
- ② SEEK/AMS(頭出し/ラジオ選局)ボタン
- ③ (+/-)ボタン
サウンド
- ④ MUTE(音切り)ボタン
ミュート
- ⑤ SOUND(音量調節/音質調整)ボタン
- ⑥ DSPL(表示切り換え)ボタン
ディスプレイ

- ⑦ PRESET/DISCボタン
テープ... 早送り・巻戻し
ラジオ... プリセットした局を選局
CD/MD... ディスク交換
- ⑧ SOURCE(FMまたはAM/テープ/CDまたはMD切り換え)ボタン
ソース
- ⑨ MODE(テープ再生面・バンド・CD/MD機器切り換え)ボタン
モード

ご注意

本機底面のパワーセレクトスイッチを⑨にしている場合は、本機の電源が入っていないとワイヤレスリモートコマンダーで本機を操作することはできません。
ラジオを受信するか、またはテープを再生してから操作してください。

故障かな？

下記の処置を行っても効果がないときは、接続に問題があるか、故障と考えられます。
お買い上げ店またはお近くのソニーサービス窓口にご相談ください。

症状	原因・処置
音が出ない	<ul style="list-style-type: none">音量を上げてください。スピーカー接続時：フェーダーの設定が正しくない。 2スピーカーで聞くときは、スピーカーバランスをフロント、あるいはリア側にしてください。イコライザー接続時にフェーダーがリア側になっている。 イコライザーなどを接続して使用するときは、本機のフェーダーはセンターに合わせてください。イコライザーなどを接続していないのに、音声出力/入力切り換えスイッチが②側になっている。 音声出力/入力切り換えスイッチが①側にしてください。(取り付けと接続編もご覧ください)。
共通	
電源OFF時に時計表示にならない	パワーセレクトスイッチが④になっている。 パワーセレクトスイッチを④にしてからリセットボタンを押してください。(アクセサリー位置のある車のみ)
メモリーの内容が消えてしまった	<ul style="list-style-type: none">リセットボタンを押した。動作用電源コードまたはバッテリーをはずした。電源コードが正しく接続されていない。
ボタンを押したときの「ピッ」という音が出ない	「ピッ」という音が出ない設定になっている(26ページ)。
カセットが入らない	カセットを正しい向きにして入れてください。
カセットブレーヤー	テープ再生中にパワーアンテナが上がる
	「ATA」と表示されている場合は、ATA機能が働き、テープ早送り、巻戻し中に自動的にラジオを受信するためパワーアンテナが上がったままとなります。
	雑音が多い
	雑音が多いテープ、あるいは録音レベルの低いテープを再生している。故障ではありません。
	頭出しができない
	<ul style="list-style-type: none">曲間のあきが短すぎる。録音テープを作るとき、曲間を4秒以上あけてください。曲間に雑音が多く、曲間を検出できない。

付録

次のページへつづく

故障かな?(つづき)

症状	原因・処置			
カセットプレーヤー	音がこもる			
	曲の途中で再生が始まる			
	曲が収録されていない部分で再生が始まる			
CD/MD	音がとぶ 音が途切れる 音が割れる	• ヘッドが汚れている。別売りのソニークリーニングカセット(CHK-1またはC-1KN)を使ってクリーニングしてください。 • ドルビーNR録音されていないテープをドルビーB NRで再生している。SHIFTボタンを押してから数字ボタン9を押し、ドルビーNRを切ってください。	• 曲の途中に無音部分や低音のみの部分が1秒以上あり、曲間として検出された。 • 再生している面と反対の面に大きな音が録音されている。 • 無音部分の一部に雑音が多い。	ドルビーNR録音されたテープをドルビーNR OFFで再生している。SHIFTボタンを押してから数字ボタン9を押し、ドルビーB* NRに切り換えてください。
ラジオ	受信できない、 雑音しか出ない	• CDが汚れている。ディスクをクリーニングしてください。 • ディスクが傷ついている。 • チェンジャー本体がしっかりとしていない所に取り付けてある。		
	SEEKボタンを押しても聞きたい局で止まらない	• カーアンテナとの接続を確認してください。 • オートアンテナが上がっていない。パワーアンテナコントローラリードをANT REM(青)コードに接続してください。 • 周波数を確認してください。	• 「LOCAL」と表示されている場合は電波の強い周波数しか受信しません。表示を消してください(17ページ)。 • 電波が弱くて自動選局できない。SEEK/AMS(▶▶/◀◀)ボタンを押しつづけて周波数を合わせてください。	

CD/MDのエラー表示

CD/MD機器が誤動作すると、アラーム音が鳴り、エラー表示が5秒間点滅します。

エラー表示	原因	処置
BLANK*	MDに何も録音されていない。	他のMDに入れ換える。
ERROR*	ディスクが裏返しになっている。 CDが汚れている。 MDが何らかの原因で再生しない。	ディスクを正しく入れ直す。 CDをクリーニングする。 ほかのMDに入れ換える。
HIGH TEMP	周囲の温度が50°C以上あり再生できない。	車内の温度が下がるのを待つ。
NO DISC	チェンジャーのディスクマガジンにディスクが入っていない。	ディスクを入れる。
NG DISCS	CD/MDが何らかの原因で再生しない。	ほかのCD/MDに入れ換える。
NO MAG	ディスクマガジンがチェンジャーに入っていない。	ディスクマガジンにディスクを入れ、チェンジャーに入れる。
RESET	何らかの原因でCD/MD機器が動作しない。	本機のリセットボタンを押す。

* チェンジャーの場合は、エラーを起こしたディスク番号が表示されます。

保証書とアフターサービス

保証書(別に添付)

保証書は、所定事項の記入をお確かめのうえ、お買い上げ店からお受け取りください。内容をよくお読みのあと、大切に保管してください。

保証期間

お買い上げ日より1年間です。

アフターサービス

修理を依頼される前に「故障かな？」の項目に従って、故障かどうかをお調べください。直らないときは、お買い上げ店、またはお近くのサービス窓口(別紙)にご相談ください。

保証期間中

保証書の記載内容に基づいて修理させていただきます。

保証期間を過ぎたら

修理によって機能が維持できる場合は、ご要望により有料修理させていただきます。

部品の保有期間

この製品の補修用性能部品(機能を維持するために必要な部品)を、製造打ち切り後最低6年間保有しています。

主な仕様

カセットプレーヤー部

トラック方式	4トラック2チャンネル (ステレオ)
ワウフラッター	0.06% (WRMS)以下
周波数特性	30~20,000Hz ±3dB
再生SN比 (JIS A)	

カセット	ドルビー B* NR	ドルビー NR OFF
TYPE I	65dB	58dB
TYPE II、 III、IV	68dB	61dB

チューナー部

FM

受信周波数	76~90MHz (テレビ1~3ch)
中間周波数	10.7MHz
実用感度	8dBf
周波数特性	30~15,000Hz
SN比 50dB感度 (IHF)	18dBf
実効選択性	75dB (400kHz)
SN比	65dB (ステレオ)
	68dB (モノラル)
ひずみ率 (1kHz)	0.5% (ステレオ)
	0.3% (モノラル)
ステレオセパレーション	35dB以上 (1kHz)
キャプチュアレシオ	2dB

AM

受信周波数	522~1,629kHz
中間周波数	10.71MHz/450kHz
実用感度	25μV

アンプ部

適合インピーダンス	4~8
最大出力	40W×4 (4 負荷1kHz)

電源部、その他

電源	DC12Vカーバッテリー (マイナスアース)
出力端子	フロント/リア音声出力端子、 イコライザ出力端子 アンプコントロール、 アンテナコントロール
入力端子	バス音声入力端子、 バスコントロール入力端子 ミュート (携帯電話、ナビゲー ション)入力端子
本体寸法	約178×50×173mm (幅/高さ/奥行き)
取付寸法	約178×50×160mm (幅/高さ/奥行き)
質量	約1.2kg

付属品

ロータリーコマンダーRM-X2S

(1)	取り付け/接続部品 (一式)
	取扱説明書 (一式)
	ソニーご相談窓口のご案内 (1)
	保証書 (1)
	ワイヤレスリモートコマンダー RM-X41
	CDチェンジャー CDX-705 (10枚) CDX-T62 (6枚)
	MDチェンジャー MDX-61 (6枚)
	グラフィックイコライザ付き ミニディスクプレーヤー MDX-700EQ
	グラフィックイコライザ付き コンパクトディスクプレーヤー CSX-510EQ
	スペアナ付きMDプレーヤー MDX-410
	スペアナ付きCDプレーヤー CSX-310
	ソースセレクター XA-C30など
	バスケーブル (RCAピンコード付属) RC-61 (1m) RC-62 (2m)
	RCAピンコード RC-63 (1m) RC-64 (2m) RC-65 (5m)

別売品

本機の仕様および外観は、改良のため、予告なく変更する ことがあります。ご了承ください。
--

索引

あ行

イントロ 14、28
ATA 14
エラー表示 41
オートスクロール 27
音量 11、24

か行

高音 24
カスタムファイル 30

さ行

CD/MD 27
名前で探す 32
名前をつける 30
名前を表示する 31
シャッフル 29
ステレオ放送 17
スピーカーバランス 24
SET UP

BEEP 26
CLOCK 7
DIM 26
D. INFO 26
RM 26

た行

低音 24
ディスクメモ 30
D-BASS 25
テープ 36
音質劣化 36
道路交通情報 18
ドルビー 14
電源 12
登録
 自動登録 9
 ラジオ局 9、16
時計 7

な行

名前
 消去する 20、31
 つける 19、30
 表示する 20、31

は行

バランス 24
バンク 34
ヒューズ 35
表示窓
 テープ 12
 ラジオ 17
フェーダー 24
ブランクスキップ 14
ボタンの音 26

ま、や行

モノラルモード 17

ら、わ行

ラジオ 9、16
自動選局 17
登録 9、18
名前で探す 21
名前をつける 19
名前を表示する 20

リスト 21、32

リセット 6

リピート 15、29

リモコン

ロータリーコマンダー
10、22
ワイヤレスリモートコマン
ダー(平形) 38

ソニー株式会社 〒141 東京都品川区北品川6-7-35

お問い合わせはお客様ご相談センターへ

東京(03)5448-3311 名古屋(052)232-2611 大阪(06)539-5111

Sony Corporation Printed in Japan

*工-3-859-718-0